

虚実皮膜の間

にしきかげえ

ふいるむ

あわい

往昔、浪華の名物「錦影絵」と
名代の「手回し活動写真」を、
併せて御覧に供じます。

錦影絵

さくらしらなみひよいとぶくろ

桜白浪憑依豆袋

活動写真

Endless Action

日本で最初に大阪・難波新地で上演された、南蛮渡来の幻燈見世物。この金属幻燈を、日本独自の発想で展開した「錦影絵」(江戸では「写し絵」)は、幻燈師が操る風呂——木製幻燈機と、種板——仕掛けスライドが、和紙スクリーンに繰り広げる玄妙な物語世界です。ここに、日本のアニメーションのルーツがあります。ひるがえって、シネマトグラフ映画の日本初公開は、ところも同じ難波でした。そのころは作品のほとんどが、短いフィルムの両端をつないでループ状とし、手回し映写機にかけて上演されていました。

錦影絵と手回し活動写真の共演は、日本映画史の出発点を追体験すると同時に、映像の原点に触れる試みでもあります。

さくらしらなみひよいとぶくろ
錦影絵「桜白浪憑依豆袋」

日本のアニメーションの原点である、ジャパニーズファンタスマゴリア「錦影絵」の復元と、新作上演に関西で初めて取り組んできた、大阪芸術大学「錦影絵池田組」。木製幻燈機の風呂と仕掛け種板を操り、新作演目をご披露します。制作総指揮/池田光憲

手回し活動写真「Endless Action」

「たった5秒、でも無限。」映画館で上映する35mmフィルムで、僅か72コマ撮影したものを最初と最後のコマをつないでループとし、エンドレス・アニメを、明治の手回し活動写真機でつぎつぎとご覧に供じます。講師/松本夏樹

上演日時●

平成22年2月20日(土)17時より・21日(日)15時より

上演は約1時間

上演会場●

じないまち交流館

大阪府富田林市富田林町9-29
近鉄長野線富田林駅(阿倍野橋より準急で約30分)下車
南口正面のバチンコ店左脇の道をまっすぐ300m

《入場無料》

企画・制作・上演●大阪芸術大学虚実皮膜の間プロジェクト
後援●富田林市/富田林市教育委員会
協力●じないまち実行委員会/(財)大阪21世紀協会/大阪府立大型児童館ビッグバン
お問い合わせ●大阪芸術大学芸術計画学科合同研究室 Tel: 0721-93-3977 内線: 3641

